

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズソリス灘		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日 ~ 2026年 1月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日 ~ 2025年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別課題と小集団療育を組み合わせることで保護者のニーズ・児童の特性に応じた支援を提供することができている。	就学に向けて個別課題では運筆や平仮名の読み書き、数字カード、微細運動等を実施している。小集団療育では放課後等デイサービスの活動プログラムをアレンジして5領域に応じた療育を実施している。	保育所等訪問支援や関係機関連携を通して就学前に就学先の学校と連携する機会を設け、より就学を見越した支援の提供ができるようにする。
2	個人情報の扱いに十分留意して運営をすることができている。	契約書類や療育記録等個人情報に関わる書類は鍵付き書庫にて保管をしている。連絡帳やお便りの配布時にはファイルに入れる前に指名や配布物の間違いがないか、複数名の職員で確認をするようにしている。	引き続き個人情報の扱い留意すると共に、プリントには名前を書く、提出箱を作成する等して職員だけでなく児童も自分の持ち物の把握や配布物の提出等が行えるようにしていく。
3	児童が安心して楽しく利用することができるように環境を整えていることが保護者の満足度に繋がっている。	スケジュール表や座席配置表等を掲示してわかりやすく安心した環境となるよう工夫をしている。音楽に合わせて歩く、始まりの歌、絵本等の活動も取入れ、児童が楽しく療育に取り組むことができるようにしている。	児童発達支援から放課後等デイサービスへ移行時に安心してご利用していただけるよう、年長児にはご希望に応じて放課後等デイサービスのプログラムを体験できる機会等を設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応について各種マニュアルや避難訓練の周知・説明を実施すること。	各種マニュアルは整備されているが保護者に周知・説明ができていなかった。避難訓練は小集団療育にて月1回実施しているが週1回のご利用児童も多く、参加できる機会が少なかった。	各種マニュアルの周知・説明を実施していく。また発生を想定した訓練の様子等も保護者会やブログを通して発信してくようにし、参加できなかった月も内容の共有が実施できるようにする。
2	保護者会等の開催、保護者同士で交流する機会を設けること。	保護者会は実施できたが上半期からの開催となつたため、当日参加できなかった方や下半期から新規でご利用された方には案内することができなかった。	上半期・下半期に年2回の保護者会を開催できるように準備をする。当日参加いただけなかった方にもブログ等を通して保護者会や療育参観の機会を設けていることをお伝えできるようにする。
3	ニュースレターだけでなくブログを通して日々の療育の様子を発信すること。	ブログの作成方法は確認することができたが、ブログの担当職員や更新頻度、内容を検討する時間を確保できていなかった。	月毎にブログ担当の職員を決めて作成時間の確保を行い、月1件以上ブログでの発信ができるようにする。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズソリス澁		公表日		2026年3月18日		利用児童数	5	回収数	5
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	0	1	放課後デイの方に男性職員がいないのが気になる。中学年以上の男子のパンクなどにはどのように対応しているのか。	支援方法に関しては保護者・職員・関係機関と連携を図りながら実施をしている旨を説明する機会を設けるようにする。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	0	0	0				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1	0	0	定型の子供と比べて「大丈夫ですよ」と言われても不安になる時がある。	特性に応じた専門性のある支援が提供できるよう職員間で連携や支援の質の向上に努めていきたい。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	1	0	0				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	4	1	0	0				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1	0	0		5領域の支援内容に関する説明だけではなく、本人支援や家族支援、移行支援についてもより丁寧に説明を実施していくようにする。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1	0	0		毎月異なるテーマで5領域に応じた活動プログラムを設定している。半年間は同様の内容の活動はしないよう工夫をしている。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	2	0		事業所の特性上、地域の他の子どもと行動をする機会を設けることは難しいが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。		
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	0	3		家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けられるよう発信をしていくようにする。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5	0	0	0				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	1				

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	3		保護者会を実施したが年1回の開催にとなったため、当日参加できなかった方にも参加していただけるよう次年度以降も保護者会の開催を実施できるようにする。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	2	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備し、迅速かつ適切に対応できるよう努めている。	相談や申し入れがあった際の対応について、契約時の説明のみであることが多いため年1回周知・説明を実施していくようにする。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	2		登録曜日が固定化されており、次月のご利用予定表をお渡しできていないことがあるため、放課後等デイサービスと同様、予定表を発行するようしていく
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	3	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	2		月1回避難訓練を実施しているが週1回利用の児童が多く、日程が合わないこともある為参加できなかった月にも訓練の様子をニュースレターやブログ等を通して共有できるようにする。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1		安全確保計画について、お便りの配布だけでなく、保護者会等の機会を通して周知できるようにする。
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	追加で通いたい方が空いていない	2026年度より月曜日を開室し、より多くの方にスマートキッズの支援を提供できるようにする。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		スマートキッズソリス灘		公表日		2026年3月18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	児童発達支援・放課後等デイサービスで部屋が分かれており、年齢に応じた支援が行える環境設定を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	法令上必要な基準人員に加えて、心理専門職員・児童指導員等を配置している。	送迎時間帯等に応じて職員の配置数が少なくなる時間帯も生じる為、死角となるスペースが生じないよう分担や声掛けを実施していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	状況に応じてクールダウンスペースを確保できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	業務前MTGやノート、チャット等を活用して情報共有を行い、意見を把握する機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	虐待研修・感染症対策研修等に全職員が参加し、支援の質の向上に努めている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	児童発達管理責任者が面談を実施して、アセスメントを行い、個別支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間で統一した支援が提供できるよう支援計画の共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	5領域に沿った活動プログラムを実施し半年間は同じ内容の活動とならないよう工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	保護者のニーズや児童の発達段階に応じて個別課題を実施、小集団療育の中でも個々の目標設定に応じた支援を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	職員間で、日々の様子や課題に対する取り組み状況等を共有し当日の支援の方針を検討している。全職員がMTGに参加できない時はノートやチャットにてメモを残して共有するようにしている。	職員の勤務時間や業務の関係性からMTGが実施できていない日もある。MTGの時間確保が難しい時には、ノートや送迎表、その都度口頭で伝えること等を通して情報共有・確認の徹底に努めていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		送迎時間や勤務時間の関係上、支援終了後のMTG時間の確保はできていないが、その都度チャットや口頭で気づいた点の共有を実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々療育記録にて、支援計画に沿って記録を作成し、振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		地域の児童発達支援センターとは必要に応じて連携を図ることはできているが、スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けることができていない為、地域の協議会等へ積極的に参加し、連携できる関係性を築いていきたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		事業所の特性上、地域の中で他の子どもと活動する機会は設けられていないが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や面談、連絡帳でのやりとり等を通して子どもの発達の状況や課題について共通理解を持てるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	状況に応じて、個別支援計画の面談とは別で家族支援等の案内を実施している。	面談や家族支援は実施できているが、家族等も参加できる研修の機会や情報提供は行っていない面もある為、次年度以降に実施できるよう検討をしている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		保護者会は開催することができたが、年1回の開催となったため、より多くの方に参加いただけるよう年2回の実施に向けて調整を行っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に紙面と口頭にて食物アレルギーの確認を行っている。おやつ提供時には複数の職員でアレルギーの有無の確認を実施している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年3回全職員が参加し、虐待防止研修を実施している。法人内の近隣教室の職員も参加することで客観的な意見も取り入れることができている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		